

能登半島地震で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。



2024 画竜点睛

finishing touches



辰年の幕開けです!

今年もよろしく

お願い申し上げます

いよいよ令和5年度 第3学期の始まりです。

6年生にとっては「6年間の集大成」の学期、そして、おのでらっ子一人ひとりにとって、今年度のしめくりになる学期ですね。

誰もが「有終の美」を飾れるよう、辰年=竜にちなんで「画竜点睛」という言葉を送ります!

がりょうてんせい
「画竜点睛」 物事を完成させるために、最後に加える大切な仕上げのたとえ。また、物事の最も肝要なところのたとえ。

「画竜点睛を欠く」 最後の仕上げが不十分で、肝心なところが欠けているため精彩がないこと。

*竜の絵を描くことに例えるなら、最後に、竜の目(点)をどう描くかで、その絵のよさが決まってしまう…。

令和5年度が自分にとって「良い1年だった」と言えるためにも、3学期の取り組みが大変重要になってきます。学習面では、いかがでしょうか? 16日には、さっそく学力テストがありますね。実力を十分に発揮できるよう、準備してください。生活面はどうでしょうか? あいさつは、寒さに負けず、元気よく、気持ちよくお願いしますね。そして、行事面では? 何といっても「卒業式」が待っています。その前には、6年生を送る会やお別れ式があります。5年生や2年生が、リーダーを務めることとなりますが、どの会も、一人ひとりにとって「大切な思い出」として残るように、全員で心をこめて取り組みましょう。

1・2学期の成果をもとに自信をもって!(o^-^o)

【12月6日(水)人権集会】

人権集会実行委員会で「今年の小野寺小学校の特徴」について話し合ったところ、「学年関係なく、みんなが仲良く遊んでいること」という意見が出て、それを生かした活動がしたいということになりました。

そこで、各学年で実施している「誉め言葉のシャワー」を他の学年の友達とも実施しようということになりました。当日は、おのでらっ子グループに分かれ、事前に用意しておいた「GOOD カード」を交換しながら、お互いに良いところを伝え合う活動をしました。

その様子を見ていて、「私もGOODカード 欲しい!」と、本気で思っていました。

- ・だれだってほめてほしい!
- ・良いところ見つけてほしい!
- ・認めてほしい! 存在に気づいてほしい!
- ・分かってほしい!
- ・直接伝えてくれたら、こんなうれしいことはない!

そんなことを思いながら、みんなの活動を見ていました。

また、自然とそう思えてくるくらい、おのでらっ子のみんなが、ひとりひとりの顔を思い浮かべながら、良いところを見つけて、一生懸命、カードにメッセージを書いている姿が想像できました。もしかすると、そんなに一生懸命にならなくても、普段から、お互いの良いところが分かっている、すらすらと書いてしまったかもしれません…。

グループのみんなから渡された「GOODカード」を読み返しているときの みんなのまなざしや体育館から出ていくときの「うれしそうな」「幸せそうな」表情が印象に残っています。それくらい、素敵な集会になったと思います。実行委員の皆さん、リードしてくれた6年生の皆さん、ありがとうございました。

おのでらっ子の魅力を再確認することができました。
*おのでらっ子の皆さんは、いつでも、お互いの良いところを認め合いながら、誰にでも優しい気持ちで接し、「笑顔と元気」で生活することができていますね。

このことは、終業式の式辞の中でも述べさせていただきました。



【12/8 学校保健委員会】

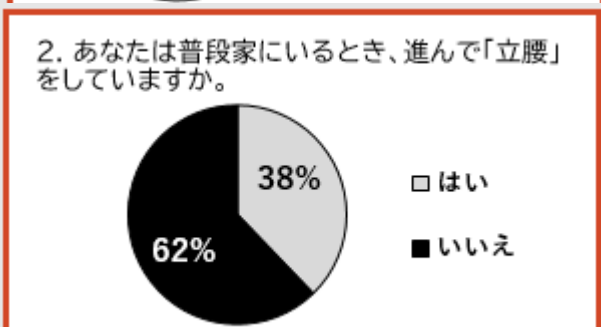
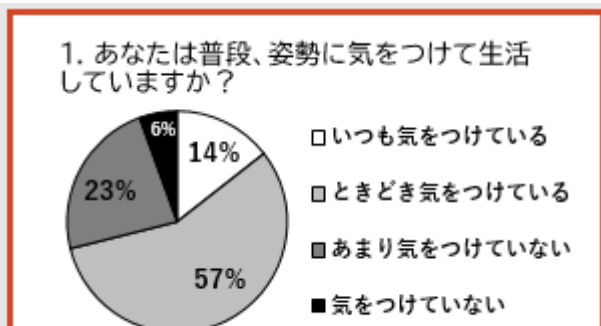
<内容>

- ①健康診断結果、保健室来室状況等について
- ②児童保健・給食委員会による発表
「おのでらっ子の姿勢について」
- ③意見交換(児童の健康等について)
- ④学校医より助言

<参加者>

校長、教頭、熊倉学校医(内科)、亀田歯科医、PTA生活委員会、保健・給食委員会児童、保健主事、養護教諭

<当日のプレゼン画面より>



学校での学習中のようすについて…

姿勢は…

- >体の調子
- >集中力
- >やる気

に影響してくることがわかった！

【1/8 始業式 校長式辞の原稿より】

■1つめ<地震>1日の夕方に、能登半島地震が起きてしまい、大変な被害が出てしまいました。今年も、良い年になればいいなあと思っていた矢先の地震だったので、とてもびっくりしました。そして、ショックでした。これからのニュースを見ながら、自分に何ができるかを考えていきたいと思います。

■2つめ<めざせ博士ちゃん>新年早々、大きな地震や事件・事故が続いて、そういう気持ちになれなかったかもしれませんが、もし、プリントを持ってきている人がいたら、提出してください。※後日、特別号を発行します。

■3つめ<大谷グローブ>この後、教室に持っていきますので、どうぞごらんください。この後、どう使っていかかは、またあとでお知らせします。

■今日の話に、題名をつけるなら「自分にできること」です。だれもが、大谷選手のようにになれるわけじゃないし、今すぐ、被災地に助けに行けるわけじゃないし、「できないこと」ばかり考えてしまうこともあるわけですが、それでも、誰にでもたくさん「よさ」もあるし、「できること」もあります。人権週間では、「GOODカード」や「人権の木」に、お友達から、自分の良いところをたくさん書いてもらいました。そして、「私のよいところの実 育てよう」をつくりました。あそこに書いたことが「自分にできること」の1つめです。3学期も自信をもって、元気に頑張っ、て、「できること」を増やしていきましょう。

◎みんなの元気な笑顔に再会できただけでも十分でしたが、寒い中よ〜くお話を聞いてくれて幸せな気持ちでいっぱいになりました。ありがとう！ ☆めざせ博士ちゃんのプリントもやってくれてありがとう！ 3学期もよろしく！
***** 江田コラム *****



今、ワクワクしていることのひとつに、SLIM の月面着陸があります。SLIM は、日本(JAXA)が、昨年9月7日に打ち上げた小型月着陸実証機です。この SLIM が、1/20(土)の午前 0:20 に月面に着陸する予定です。成功を祈りましょう！ そして、12/24 には、国際月探査「アルテミス計画」において、日本人宇宙飛行士を月面着陸させる方向で最終調整をしているというニュースが飛び込んできました。順調に進めば 2025 年末に実現！

さあ、これからどんな未来が待っているのでしょうか。おのでらっ子にも、大谷選手のように、グローバル&ユニバーサル?な活躍が期待されます。

~~~~~  
と、ここまでは、年内に書き上げていたわけですが、1/1 早々、大変な災害が発生してしまいました。私は、実家で、大晦日から来ていた甥(妹の長男・大学生)とその友達が帰るのを見送った矢先でした。それなりに穏やかな時間を過ごした直後だったこともあり、本当に驚きました。NHK のアナウンスにも鬼気迫るものがありましたね。そして、1/2 の羽田空港での事故。1/3 以降もいろいろな事件事故が続きました。

本校も土砂災害特別警戒区域に指定されており、今年度は、土砂災害を想定した避難訓練も実施しました。日頃から、全職員、自然災害に対する危機意識を高めている実情もあり、大変ショッキングな状況になってしまいました。自然相手には、どうにもなりません、何とか「安寧」な年になってほしいものです。

繰り返しになりますが、被災された方々、事故に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。